

信州大学医学部附属病院 小児科・血液内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年7月9日

「幼若血小板比率(Immature platelet fraction : IPF)の臨床的意義に関する検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4409
研究課題名	幼若血小板比率(Immature platelet fraction : IPF)の臨床的意義に関する検討
所属(診療科等)	信州大学大学院総合医理工学研究科医学系専攻保健学分野
研究責任者(職名)	小林 純(大学院生)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年3月31日
研究の意義、目的	幼若血小板比率(IPF)の臨床的意義を明らかにすることを目的とした研究で、血小板数異常等の造血異常や各種病態の診断、鑑別に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2014年4月1日から2022年3月31日の期間に当院で末梢血液検査を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	郵送、電子的配信 等により提供を受けます
研究方法	当院にて測定された対象症例のIPF値等のデータおよび臨床情報を収集し、コントロール群(血小板数異常等がない方)および各疾患群のIPF値について比較検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	長野県立こども病院(責任者:小林 純)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:小林 純
問い合わせ先	石田文宏・中澤英之 (信州大学医学部附属病院 血液内科) 電話:0263-37-2634

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。